

松尾地区から羽ばたく若者たち 令和7年度 二十歳の集い



発行所
飯田市松尾公民館
編集人
松尾公民館広報委員会
印刷：龍共印刷株式会社

1月11日、松尾公民館で「二十歳の集い」が行われ、令和7年度に20歳を迎えた若者112人が集まった。華やかな振袖姿の女性とスーツ姿の男性が、今日までの成長を見届けてくれた親や恩師への感謝の思いを内に秘めて緊張の面持ちで記念写真に。



約200年前の12月23日、飯田城下13町が全焼する「床や火事」と呼ばれる大火がありました。その際、島田村（現在の松尾）の火消したちが長姫城を守るために素晴らしい働きをしたといわれています。その功績から、時の藩主である「堀公」より奥方の紋章である「三亀」

「時は文政6年、今から約200年前の12月23日、飯田城下13町が全焼する「床や火事」と呼ばれる大火がありました。その際、島田村（現在の松尾）の火消したちが長姫城を守るために素晴らしい働きをしたといわれています。その功績から、時の藩主である「堀公」より奥方の紋章である「三亀」



第5分団では、この誇りある伝統を受け継ぎ、共に松尾の安全を守る新しい仲間を募集しています。自分たちの暮らす地域を大切に思い、誇りを持つるまちづくりに、あなたも参加してみませんか。

甲の馬印」と金3両を賜り、島田村の標記として使用することが許されました。以降、この三亀甲は大正時代には法被へ、飯田市との合併の際にはどんぶりへ、そして現在では安全服の記章へと姿を変えながら、脈々と引き継がれています。飯田市消防団の中で

地域の安全を祈願 第5分団出初式

20歳を迎えた今、これまでの人生を振り返ると、本当に多くの人に支えられてここまで来られたのだと実感します。家族、友人、先生方、地域の方々、一人で



前沢 拓 (新井区)

は決して歩んでこられなかった20年間でした。例えば、中学・高校の頃は「早く大人になりたい」と思っていたけれど、いざこの年齢になると、大人であることの責任や重みを強く感じます。自分の力で未来を切り拓いていく。大人というものはこんなに大変なのかということを実感しています。

二十歳になって思うこと

そして今、飯田市を離れて一人暮らしをして思うことは、飯田は何もなくつまらないところだと思っていました。実はそれも「大きな魅力であるな」ということです。何もないけれど人との繋がりはあるし、どこかに行けば必ず友達に会う。そんな地元が最高だなと感じています。地元・飯田で育ったことを誇りに思い、このふるさとで学んだ「人のあたたかさ」を胸に、これからの人生を大切に生きていきたいと思います。未来への不安もありますが、それ以上に希望を

持つて、一歩ずつ前に進んでいきたいと思えます。



松風

全国的にお城の入場者が増えてきているらしい。TVでも「最強の城スベシャル」という番組を目にするのでブームなのだろう。戦国期から江戸初期にかけて築城された城の中で廃城令や戦争を逃れ残った城が人気を博している。最近では日本100名城スタンプ帳なるガイドブックが発売されていて、多くの人がお城巡りをするようになった。北海道の五稜郭から、沖縄の首里城まで各都道府県に続編本を含めて200もの名城が存在する。現在、築城された当時の姿を残す現存12天守と呼ばれる城があり、その内の5つが国宝に、7つが国の重要文化財に指定されている。その他にも、石垣の城・お堀の城・山登りの城・有名武将の城と多岐に渡っていて人氣が高い。信州に目を向けると100名城は5つも存在している。その中でも松本城は国宝の城でランキングは常に上位に入っている。全国屈指の城である。五重の天守の実物を見ることができるとは姫路城とこの城だけなので、ぜひ訪れてみてはいかがだろうか。NHK大河ドラマでは久しぶりに戦国時代物「豊臣兄弟」が放映されている。このブームに乗ってスタンプラリー目当てでもご当地グルメ目当てでも、100名城なるお城巡りをしてみてはいかがだろうか。

松尾の人口	
男子 6,054 人	
女子 6,555 人	
計 12,609 人	
世帯数5,462世帯	
2月末現在	

感じてみよう 松尾の文化

令和7年度 松尾地区文化祭

2月7日・8日に「感じてみよう松尾の文化」をテーマに令和7年度松尾地区文化祭が盛大に開催された。今年のオープニングでは、松尾公民館公式キャラクタ「シヨウサン」の任命式も行われた。緑ヶ丘学園の緑ヶ丘中、松尾小、下久堅小、竜丘小の作品も展示された。館内を彩る力作揃いの文化展や、熱気あふれる芸能発表会など、世代を超えた笑顔と活気に包まれた2日間となった。



消防団、懐かしいポンプ



今年も大活躍! テックレンジャー



美味しいものいっぱい!



未来の女性消防団員



ガチャガチャ大人気



地元の大道芸さっちゃん



コマ回せた!



松尾地区文化祭を終えて



公民館長 鎌倉 豊

今年も天候を心配しながらの文化祭でした。

オープニングセレモニーを待っていたかのように天候が回復し「シヨウサン」松尾公民館公式キャラクター任命式を行うことができました。地域で愛されるキャラクターとなり、地域が元気になることにつながればと思っています。

小学生も活躍してくれました。飯田市にまつわるクイズを作り「飯田スタンプラリー」を開催、笑顔と元気な声で来場者を楽しませてくださいました。

翌日は早朝から猛吹雪となり、雪かきや飲食スペースの急な変更など、実行委員の皆さんに汗を流していただきました。

ただき、会場準備をするところが出来ました。感謝の一言です。

昨年の文化祭の「うしろむき弁天ものがたり」がきっかけとなり天竜舟下り唄保存会が発足しました。同保存会は昨年6月から松尾小学校クラブボランティアで子供たちに天竜舟下り唄の踊りを教え始め、今年の芸能発表会で保存会の皆さんと一緒に子供たちが習った踊りを披露することにつながりました。人の出会いとつながりに感動を覚えたひと時でした。

足元が悪い日もありましたが、多くの人にご来場いただき、集い、笑顔で言葉や交わり、人と人がつながる、そんな文化祭にすることができました。関わっていただいた全ての皆さんのご支援とご協力があってのことと深く感謝申し上げます。



文化委員長 森本 浩之

天候が不安定な中、多くの皆様にご来場、参加いただき、ありがとうございます。楽しんでいただけましたでしょうか? 来場していただいた皆さんの楽しそうな顔を見て嬉しく思いました。

オープニングセレモニーで、令和4年度松尾小学校開校150周年の際に当時の児童がデザインした「シヨウサン」の公民館公式キャラクターとしての任命式を行いました。伊那谷芸人☆さっちゃんの大道芸、おもしろ科学教室、テックレンジャーショー、商工会議所松尾支部の皆さんによる豚汁提供、消防団はコロナ前に実施していた煙体験を再開、新たに松尾小学校6年4組によるタイ

ズラリー等、多くの方々に参加していただき盛大な文化祭となりました。また、降雪の影響で、急遽松ぼっくり講堂を飲食スペースとして開放しました。

芸能発表会に来場していただいた方から「昨年の芸能発表を見て子供が『やってみたい』と活動を始め今年発表するのを見に来た」との話を伺い、子供たちが興味を持つ場にもなっていると嬉しく感じました。

このような文化祭が開催できるのも松尾地域の皆さんの協力あつての事業と実感しています。

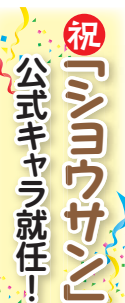
最後になりましたが、文化展に際し力作をお貸しいただいた方々、芸能発表会へ参加いただき、素晴らしい演奏や踊りを披露していただいた方々、そして準備・急な天候の変化に対応していただいた実行委員の皆さんに感謝申し上げます。

まつおFAMILYデー



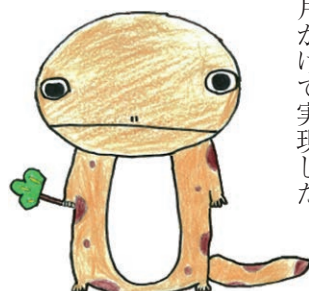
「いろいろな人と触れ合えて楽しかった」と話していた。

1月25日に松尾公民館で「まつおFAMILYデー」が開催された。家族みんなが参加できるようにと日曜日に企画し、0歳から3歳児までの子供をもつ12家族が参加した。まず子供の様子を話しながら自己紹介をし、全員で行進した後、手形と足形を取った。最後に絵本の読み聞かせを行った。元保育士の小木曾嘉子さんは「お父さんと遊べて子供たちも嬉しそうだった」と話し、参加した家族は「子供の成長が残せて良かった」と話していた。



祝「シヨウサン」公式キャラ就任!

この文化祭で、松尾小学校生まれの「シヨウサン」が松尾公民館の公式キャラクターに任命された。モデルは特別天然記念物・オオロジエクトから、約7か月かけて実現した。



芸能発表会 笑顔と拍手が響く一日

～20団体が多彩な芸能発表～



寺所囃子舞保存会



松尾小学校合唱団



コカリナサークルおとね



男踊り教室



ウクララ



ALOHA CLUB



輝悠会



飯田市スポーツ少年団カラーガード隊



あおい会



悠風会



南信州 INFINITY



ハーラウ・フラ・オ・ラウレア



フルーデアンサンプル



天竜舟下り唄保存会



緑ヶ丘中学校・旭ヶ丘中学校・県中学校合唱部



松尾コーラス

代田区 寺子屋で書初め

1月4日代田区コミュニティセンターで書き初めが行われ、小中学生14人が参加した。この行事は、寺子



屋運営委員会が小中学生を対象に書き初めの指導を行った。今年は地区内の大人8人が師匠として指導に当たった。前半は師匠に筆使いを教わりながら一人一人課題の文字を集中して書き上げた。後半は「午」の文字を様々な書体で大人たちが書いて見せ、子供たちからは「じょうず！難しそう！」などの声が上がった。最後に6年生の宮國道之助さんが草書に挑戦。師匠の坂下修二さんから「草書は筆を早く動かす」等のアドバイスを受けながら見事な文字を書きあげ「筆を早く動かすのは難しいけど、楽しかった」と話していた。



2月8日に予定していた恒例の八幡町天神様のお祭りが、雪の影響により延期され、2月15日に晴天のもと行われた。鳩ヶ嶺八幡宮内の天神様

歌声を聞いた区民が、子供たちの姿を一目見ようと玄関先に出て、通りには笑顔と活気があふれていた。地区の伝統行事として長年続いており、子供たちからは「みんなで歌って歩くのは楽しい」「1週間待った分だけ楽しかった」との声が聞かれた。

でお参りを行った子供たちは、保護者と共に太鼓や鈴の音に合わせて「天神様の歌」を歌いながら町内を練り歩き、にぎやかに盛り上げた。

「ほしい未来を自分たちでつくる」場へ

～第63回 飯田市公民館大会～

令和7年度 教育功労者表彰受賞者

お名前	功労内容
浅井 晃 (代田区)	スポーツ委員 5年
	(内 文化委員 2年)
	スポーツ副委員長 4年
	スポーツ委員長 3年
酒井 和久 (常盤台区)	分館主事 1年
	文化委員 15年
	文化副委員長 3年
塩澤りゑ子 (水城区)	文化委員 4年
	文化副委員長 8年
代田 孝一 (清水区)	体育委員 2年
	分館主事 2年
	分館長 2年
	文化委員 2年

2月15日、鼎文化センターで飯田市公民館大会が行われた。大会に先立ち、令和7年度の教育功労者表彰が行われ、地域の教育活動に貢献された54人が表彰された。松尾公民館からも4人が荣誉に輝いた。続くパネルディスカッションでは「ほしい未来を自分たちでつくる場へ」をテーマに議論が交わされた。特に注目されたのは若者の地域参加で、羽場地区の高校生「羽場たき隊」によるインスタグラムでの情報発信や、三穂地区の若者スポーツ大会など、多世代が交流する事例が報告された。高校への進学などを機に、若者は地域と関わる時間がどうしても減ってしまう。そこで大切なのは、大

「情報収集と発信の場」をテーマに行われた分科会には、各地区の広報に携わる人や、イベント運営に係

人側が若者の意見を否定せず、楽しみながら参加できるような役割を任せていくこと。大きな目標を達成することよりも「無理なく長く続ける」という今の若者の価値観に寄り添い、誰もが気軽に目指すことが確認され、有意義な大会となった。

「情報収集と発信の場」をテーマに行われた分科会には、各地区の広報に携わる人や、イベント運営に係

わる人が多く参加した。話題提供者は、南信州の魅力SNSで発信する、「ヤマノコ 南信州魅力再発見プロジェクト」の青山侑樹さんと菅沼和夢大さん。「デジタル発信とアナログ広報それぞれの強みは対立関係ではなく、両方を使い分けて発信することで、より多くの人の目に留まる」と話した。この話を聞いた後、参加者はグループワークを行った。



『どんど焼き』(おんべ)各地で開催

寺所区



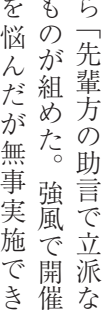
無病息災!

明区



松明を手に、点火の待を待つ!

常盤台区



常盤台市営住宅内公園で

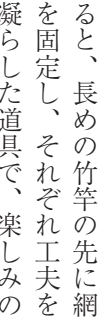


達磨の石灰は取ってネ

久井区

早朝から信金松尾支店横の田んぼでどんど焼きを行った。

清水区



火災が発生、消防団員が出動するアクシデントもあつたが、無事鎮火し、表彰式には消防団員の姿も。

上溝区



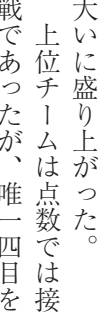
2月1日に開催される

城區



1月18日松尾公民館で

毛賀区



2月22日、毛賀区民会館

前日にPTAが松飾りを集め、焼却できる物を分別して、鉄板を敷いた上に山積みし、頂上に花傘をさし準備した。およそ30人

は強風が吹くあいにくの天候だったが、朝6時に点火された。今年一年の無病息災を願う炎が燃え上がった。みんなで囲むおんべの炎に、100人もの区民が集まった。

煙に目を細めながらも、じっくりと焼き上がるのを待つ時間は、世代を超えた交流の場となった。

大いに盛り上がった。上位チームは点数では接戦であったが、唯一四目を達成した壮年会Aチームが優勝を勝ち取った。

寒中の大会であったが各所で熱戦が繰り広げられ、試合の結果上位

チームに賞金、参加チームには参加賞が贈られ健闘をたたえる拍手で、大会は盛況のうちに終了した。

「まつお新聞」次年度リニューアルに向けての準備について

ふれあいひろば



水城區では、小正月行事

水城區では、小正月行事のおんべが松尾小学校グラウンドで賑やかに行われた。前日に松飾りが行われ、正月飾りの分別作業を行ってから校庭に運び、やぐらの組立を行った。当日

上がったおんべに火をつけた。立ち上る炎は集まった人たちの顔を赤く照らした。おきができると各々持ち寄った餅や定番のマッシュマロを焼いて頬張り、中にはみかんやソーセージといった変わり種を焼いて楽しむ人もいた。また、書き初めの紙を燃やして手を合

2月15日、清水コミュニティ消防センターで今年度最終行事の伍組対抗囲碁ボール大会が行われた。

2月1日に開催されるニュースポーツ大会分館チームの選考を兼ねて、1月18日、上溝集会所で中健会主催の新春囲碁ボール大会が行われた。

1月18日松尾公民館で城區民組合対抗スポーツ大会が開催された。13組合16チーム70人が参加した。開

2月22日、毛賀区民会館で芸能祭が盛大に行われた。10団体が出演し、今年も大いに魅せてくれた。小学生の合唱からスタートし、クラブチームによるダンス、詩吟、踊り、マジック、さらには大相撲毛賀場

現在、新しいレイアウトや企画について、広報委員会にて慎重に検討・準備を進めております。



新井區

朝6時、9人の小学6年生が松明を手に、前日作り

上がったおんべに火をつけた。立ち上る炎は集まった人たちの顔を赤く照らした。おきができると各々持ち寄った餅や定番のマッシュマロを焼いて頬張り、中にはみかんやソーセージといった変わり種を焼いて楽しむ人もいた。また、書き初めの紙を燃やして手を合

2月1日に開催されるニュースポーツ大会分館チームの選考を兼ねて、1月18日、上溝集会所で中健会主催の新春囲碁ボール大会が行われた。

1月18日松尾公民館で城區民組合対抗スポーツ大会が開催された。13組合16チーム70人が参加した。開

2月22日、毛賀区民会館で芸能祭が盛大に行われた。10団体が出演し、今年も大いに魅せてくれた。小学生の合唱からスタートし、クラブチームによるダンス、詩吟、踊り、マジック、さらには大相撲毛賀場

現在、新しいレイアウトや企画について、広報委員会にて慎重に検討・準備を進めております。

ふれあいひろば

松尾図書館
(公民館2階)

開館日
水曜 午後1~5時
土曜 午前10~午後5時
日曜 午後1~5時

本のリクエストも受けつけています。

松尾地区HPを
ご覧ください!

随時更新しています!

まつお新聞
情報集約フォーム